

# 事業概要シート

施策 0203 教育環境の充実

《》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額  
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	学校適応指導教室運営事業	現状維持	予算額	7,026 千円
			《	7,411》千円
事業期間	平成9年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等	大村市少年センター運営協議会条例 大村市学校適応指導教室設置要綱		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	7,026 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

大村市不登校対策の一環として実施し、児童生徒の気軽な相談相手として、市内の小・中学校に「心の教室相談員」を配置し、心に悩みを抱える児童生徒の相談体制を整えることで、児童生徒の心の安定を図る。

＜大村市 不登校対策＞

- (1) 教育委員会（教育相談室）
  - ①教育相談員 1名
  - ②スクールソーシャルワーカー（SSW）4名
  - ③適応指導教室（あおば教室）4名
- (2) 小学校（19校）
  - ①スクールカウンセラー（SC）8校に配置
  - ②心の教室相談員 13校に配置
- (3) 中学校（6校）
  - ①スクールカウンセラー（SC）全6校に配置
  - ②心の教室相談員 全6校に配置
- (4) その他の機関
  - ①こども政策課
  - ②保護課
  - ③児童相談所
  - ④各医療機関

上記（1）～（4）が連携して子どもたちに関わり不登校対策を講じている。

**【背景】**

に、市教育委員会社会教育課の管轄の下、開設された大村市学校適応指導教室（あおば教室）であるが、不登校対策との一層の連動を図るために、平成22年度から学校教育課へ移管された。  
 学校へ足を向けることのできなくなった子どもたちの中には、それでも他者と関わったり、学習を行ったりすることを望む者も多い。あおば教室はそのような子どもたちにとって適切な教育の場である。

担当課	教育委員会 学校教育課	課長	江浪 俊彦
担当者	木場 隆司	問合せ先	(0957) 53-4111 (内線373)

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	あおば教室通級児童生徒数	目標値 人	16	12	20	20	20
②		目標値					

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①		目標値					
②		目標値					

## 【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	6,270	8,411	7,411	7,026	7,026	7,026	43,170
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	22						22
一般財源	6,248	8,411	7,411	7,026	7,026	7,026	43,148
人件費	1,454	1,454	1,818	1,818	1,818	1,818	10,180
職員(人)	0.20人	0.20人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	1.40人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	7,724	9,865	9,229	8,844	8,844	8,844	53,350

妥当性 (市の関与)	市内の不登校児童生徒が対象であり、小・中学校や、その他の関連機関との連携が大切なので市の関与が必要である。
有効性 (施策貢献度)	市内小・中学校及び学校教育課、こども家庭課など関係者が連携をとりつつ、臨床心理士による児童生徒の心のケアにつとめ学校復帰を目指すことは教育相談体制の充実につながる。
効率性 (コスト)	必要最低限の経費で運営しているので、これ以上の削減はできない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり